

第 2 次光市環境基本計画
リーディングプロジェクト（後期分）
（案）

平 成 3 0 年 3 月
光市環境部環境政策課

第5章 リーディングプロジェクト

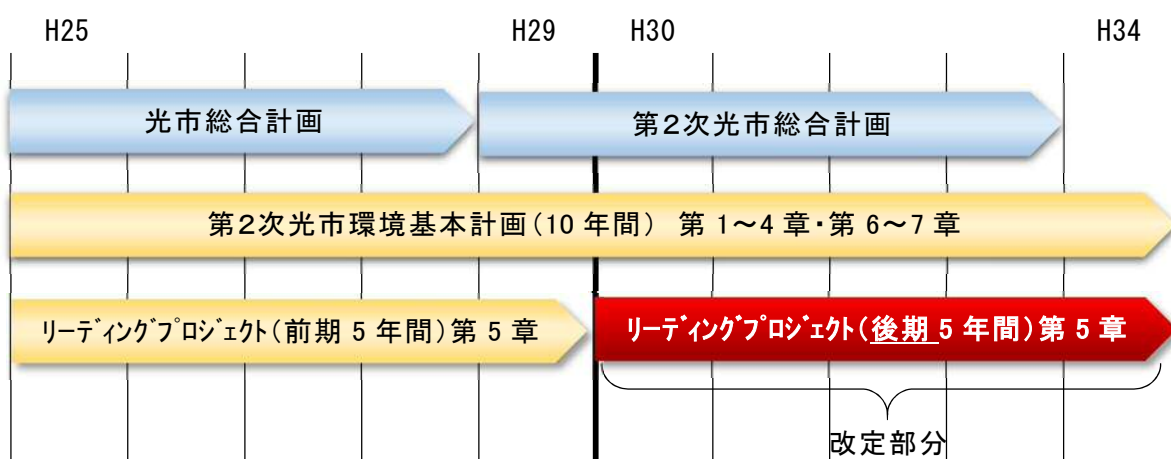
1	改定の趣旨	1
2	後期リーディングプロジェクト	1
	みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト	3
	みんなで創る エコまち推進プロジェクト	5
	みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト	8
	みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト	11
	みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト	14

第5章 リーディングプロジェクト

1 改定の趣旨

第2次光市環境基本計画は、平成25年度から平成34年度の10年間の計画期間として策定しました。このうち、行動計画部分である第5章に示したリーディングプロジェクトについては、5年を目途に見直すこととしていたことから、前期5年間における取組状況や第2次光市総合計画、社会情勢の変化等を踏まえ、今、取り組むべき課題の解決や重点的に取り組もうとする施策、事業の実施に向けた見直しを行います。

なお、中間見直しとなることから、目指すべき環境像や基本方針等の基本的な方向性は変わりません。



2 後期リーディングプロジェクト

市民・事業者・市が一体となって、その名のごとく光輝く魅力あるまちとなることを目指し、後期5年間で重点的かつ優先的に取り組むべき5つのリーディングプロジェクトを定めます。



また、施策や事業の推進にあたっては、「光」の名を有するまちとして、常に『プラス1の視点』を念頭に取り組みます。

プラス1の視点



- ★「光」という輝かしい名を強みとして、エコや自然の要素を取り入れた環境の観点からの“光”の活用に取り組み、知名度の向上や魅力の発信に努めます。
- ★日々進化する環境技術を注視し、“光”の有効性や可能性等を探求していきます。

●後期5年間における計画のイメージ



みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

●取組みの方向

長寿命で省エネ性能に優れた LED の特性を活かして、エコで快適な LED で光るまちの実現を目指します。

また、「光」の名を有するまちとして、環境にやさしく明るいまちの象徴となる LED の活用に積極的に取り組みます。

●数値目標

環 境 指 標	近況値	目標値 (H34)	単位
①LED 照明を導入している公共施設数	3	10	件
②街路灯の LED 化率	0.5	3.0	%
③家庭で LED 照明を導入している人の割合	59.1	85.0	%

※近況値出典【年度】：①環境政策課【29】（施設の延床面積に対して 50%以上 LED 化している建物数）
 ②生活安全課【28】
 ③環境市民アンケート【29】

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- LED 照明の導入に努めます。
- LED 照明の照度調節機能を活用して省エネに努めます。

【事業者】

- LED 照明の導入に努めます。
- LED 照明の照度調節機能を活用して省エネに努めます。
- LED 照明と人感センサーや明るさセンサーなどを併用して、省エネ効果の向上に努めます。

【市】

- ・ 公共施設における LED 照明の積極的な導入に努めます。
- ・ LED 照明の普及促進に努めます。
- ・ 市民の LED 照明の導入を支援します。
- ・ 事業所等の LED 照明の導入支援について情報提供に努めます。
- ・ LED を活用した事業の実施により「光」の名の発信に努めます。

● 具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
公共施設における LED 照明導入の推進						環境政策課 総務課 関係各課
LED 照明の導入促進						環境政策課
街路灯・防犯灯の LED 化の推進	検討					生活安全課 関係各課
LED の活用による「光」の名の発信の推進						関係各課



LED 照明普及啓発イベント



防犯灯の LED 化

みんなで創る エコまち推進プロジェクト

●取組みの方向

地球温暖化問題が深刻化する中、その主な原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出抑制に向け、市域全体での省エネルギー運動の展開、省エネルギー製品の導入など、市民、事業者、市が一丸となって、地球にやさしいまちの創造に取り組みます。

また、太陽光をはじめとする自然エネルギーの利活用に取り組みます。

●数値目標

環 境 指 標	近況値	目標値 (H34)	単位
①市域全体からの温室効果ガス排出量（全部門）	2,038	1,862	千t- CO_2
②市域全体からの温室効果ガス排出量（民生部門★ ¹ ）	209	181	千t- CO_2
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135	12,279	t- CO_2
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12	14	件
⑤路線バス年間利用者数	598,194	707,000	人
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8	95.0	%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8	70.0	%
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4	45.0	%

※近況値出典【年度】：①②環境省推計値【26】

★1：家庭及び業務部門

③光市エコオフィスプラン（第3期）【28】

④環境政策課【28】

⑤商工観光課【28】

⑥まちづくり市民アンケート【29】

⑦⑧環境市民アンケート【29】

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- ・省エネルギー機器の導入に努めます。
- ・日頃から省エネルギーを意識するライフスタイルの定着に努めます。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・公共交通機関や自転車等の積極的な利用に努めます。
- ・物流に伴うエネルギー低減のため、地産地消に努めます。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

【事業者】

- ・省エネルギー機器の導入に努めます。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・クールビズやウォームビズの徹底に努めます。
- ・ノーマイカー通勤の推奨、エアコンや照明の調節など、事業所を挙げた省エネルギーの取組みに努めます。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

【市】

- ・「エコオフィスプラン」の着実な推進に努めます。
- ・市民の省エネルギー機器導入を支援します。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・ノーマイカー通勤やクールビズなど、省エネルギー活動に率先して取り組みます。
- ・公共交通機関の利用促進に努めます。
- ・地球温暖化問題や省エネルギーの必要性等について周知、啓発を図ります。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
省エネルギー製品の導入促進						環境政策課
次世代自動車の導入及び普及促進						総務課 環境政策課 関係各課

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
公共交通機関の利用促進						商工観光課 環境政策課 関係各課
市域全体での省エネルギー運動の促進						環境政策課
地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実						環境政策課
燃料電池自動車の導入検討	検討					環境政策課
太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進						環境政策課
市の率先行動計画（エコオフィスパラン）の推進						環境政策課 関係各課
地球温暖化対策地域協議会の活動支援						環境政策課



エコフェスタの開催

次世代自動車の導入

みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

●取組みの方向

「自然敬愛都市宣言」のまちとして、本市が誇る白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸、母なる島田川、緑豊かな石城山など、これまで先人より連綿と受け継がれてきた水や緑の豊かな資源を守り、次代へ受け継いでいく機運の醸成を図ります。

また、水や緑が私たちの生活にもたらす恩恵に感謝するとともに、人と自然が共生する快適環境づくりを進めるため、市民、事業者、市の連携と協働による環境の保全・再生・創造活動に取り組めます。



●数値目標

環 境 指 標	近況値	目標値 (H34)	単位
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869	17,000	人
②アダプト・プログラムの参加団体数	16	20	団体
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347	42,000 以上	本
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7	35.0	%
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0	90.0	%
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8	85.0	%
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1	85.0	%
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9	85.0	%
⑨生活環境の快適さ（騒音や悪臭がないこと）に関する満足度	71.6	80.0	%

※近況値出典【年度】：①文化・社会教育課【29】
 ②地域づくり推進課【28】
 ③水産林業課【28】
 ④～⑨環境市民アンケート【29】

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- ・美しく豊かな自然を大切にし、その恵みに感謝します。
- ・クリーン光大作戦への参加など、環境保全・美化活動に積極的に取り組みます。
- ・自然の摂理を尊重し、生態系に配慮した環境保全に努めます。
- ・自然を敬愛し、自然とのふれあいを心がけます。
- ・野焼きや犬のふんの不始末など、人の迷惑となるような行為は慎みます。

【事業者】

- ・美しく豊かな自然を大切にし、その恵みに感謝します。
- ・自然の摂理を尊重し、生態系に配慮した保全に努めます。
- ・地域の環境保全・美化活動に積極的に参加します。
- ・公害や事故等の発生防止に努め、自然環境や市民生活に悪影響を及ぼすことのないよう、危機管理体制の向上を図ります。

【市】

- ・「自然敬愛都市宣言」のまちであることの周知に努めるとともに、全国に向けて情報発信します。
- ・市民の主体的な環境保全・美化活動を支援します。
- ・“光”と陰、風と緑が織りなす公園等の心地よい空間を創出するとともに、適切な維持管理を行います。
- ・自然のもつ水源の涵養や生物多様性の保全、災害の防止等、公益的機能の維持増進に努めます。
- ・自然敬愛の精神を醸成するため、自然とふれあう機会を創出します。
- ・公共事業を行うにあたっては、環境への配慮に努めます。

●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「自然敬愛都市宣言」のまちの周知						環境政策課
クリーン光大作戦の推進						文化・社会教育課

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
アダプト・プログラムの推進						地域づくり推進課
自然環境や景観と調和した光漁港海岸（室積海岸）の保全対策の推進						水産林業課
海岸松林の保全						水産林業課
市民参加による緑化活動の推進						都市政策課 関係各課
どんぐりの森の整備						水産林業課
市民の森自然観察林の整備						水産林業課
自然環境を活かした防災機能の向上						水産林業課
公園・緑地の適正な配置・保全						都市政策課
自然に配慮した河川整備						道路河川課
公共下水道や浄化槽の整備						下水道課
安全でおいしい水の安定的供給						水道局
鳥獣被害防止対策の推進						水産林業課
公害防止対策の推進						環境政策課
公共事業における環境配慮の推進						入札監理課
文化・歴史的資源の保存・活用						文化・社会教育課
自然環境を活かしたスポーツ活動の推進						体育課



●取組みの方向

自然破壊や地球温暖化等の環境問題を引き起こしてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型社会からの転換を図り、持続可能な循環型社会を構築するため、日本古来の「もったいない」という文化を継承し、廃棄物の発生抑制や再資源化の推進に取り組みます。

●数値目標

環 境 指 標	近況値	目標値 (H34)	単位
①1人1日あたりのごみの排出量	926	910 以下	g
②リサイクル率	27.8	31.5 以上	%
③ごみの最終処分量	1,187	1,187 以下	t
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2	85.0	%
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2	60.0	%
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0	85.0	%
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6	90.0	%

※近況値出典【年度】：①～③環境事業課【28】

④～⑦環境市民アンケート【29】

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- ・分別方法や収集日など、ごみ出しルールを守ります。
- ・命の源となる食材に感謝し、食物残渣の減少や食べきりに努めます。
- ・適量の調理、生ごみの排出抑制、水切りの徹底、堆肥化に努めます。
- ・バザーやフリーマーケット、資源回収などを積極的に活用し、再利用、再資源化に努めます。
- ・使い捨て製品の購入を控えるとともに、不要なものは買いません。
- ・買い物にはマイバッグを持参し、過剰包装やレジ袋を断ります。

【事業者】

- ・廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化、適正処理に努めます。
- ・備品などの適正な管理を行うとともに、環境に配慮した製品を選びます。
- ・商品販売の際は、過剰包装を控えるとともに、マイバッグの持参を呼びかけます。
- ・廃棄時の環境負荷に配慮した製品の開発や商品の販売に努めます。

【市】

- ・ごみ分別アプリの普及啓発や、市広報紙、ホームページ等を活用し、ごみに関する各種情報の周知徹底に努めます。
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に努めます。
- ・公共施設における、ごみの発生抑制の強化を図ります。
- ・事務用品等購入する際は、環境に配慮した製品を選びます。
- ・不用品交換システム（リユースネットひかり、リユースキッズひかり）の充実や情報発信の強化を図ります。
- ・祝日収集や粗大ごみの戸別収集など、市民ニーズに配慮した取組みを行います。
- ・ごみの発生抑制や再生利用の促進等を目的とした、ごみ処理の有料化を検討します。

●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「もったいない」文化の醸成						環境事業課
不用品交換システムの充実						環境事業課
市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進						環境事業課
雑がみ再資源化の推進						環境事業課
生ごみリサイクルの推進						環境事業課

みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

●取組みの方向

次代を担う子どもたちの環境保全意識を醸成し、主体的な活動を促進するため、これまでに私たちが引き起こしてきた地球温暖化問題や生物多様性の危機、ごみ問題など、地球規模から身近な課題までを、学び、考え、行動につなげる環境教育に取り組めます。

また、幅広い世代の人が学べる講座や体験学習会等を開催し、環境への配慮に対する意識の向上を図るとともに、今後の環境教育を担う人材の育成につなげます。

●数値目標

環 境 指 標	近況値	目標値 (H34)	単位
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60	65	回
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448	5,000	人
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1	85.0	%
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9	25.0	%

※近況値出典【年度】：①②環境政策課【28】
③④環境市民アンケート【29】

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習等に積極的に参加、支援、協力します。
- ・学校における環境教育や体験学習等に積極的に参加、支援、協力します。
- ・環境に関する講座や講演会等に積極的に参加します。

【事業者】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習等を積極的に支援、協力します。
- ・学校における環境教育や体験学習等を積極的に支援、協力します。
- ・環境に関する講座や講演会等に積極的に参加します。
- ・従業員の環境教育に取り組み、環境にやさしい事業所を目指します。

【市】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習会を実施します。
- ・学校における環境教育や体験学習等を実施します。
- ・地域での環境教育活動を支援します。
- ・環境関連講座や講演会等の実施により、多世代にわたる環境学習の場を創出し、環境教育を担う人材の育成につなげます。

●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「（仮称）ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進						環境政策課
環境関連講座、講演会等の実施						環境政策課 環境事業課 関係各課
自然体験機会の創出						環境政策課 水産林業課 関係各課
ごみの行方&エネルギーの 始まり見学ツアーの実施						環境事業課 環境政策課
小・中学校との連携体制の構築	検討					環境政策課 学校教育課
環境教育を担う人材の育成	検討					環境政策課 地域づくり推進課
“光”版環境学習帳の作成	検討					環境政策課
地域での環境教育の促進、支援						環境政策課 関係各課

資料編

資料編

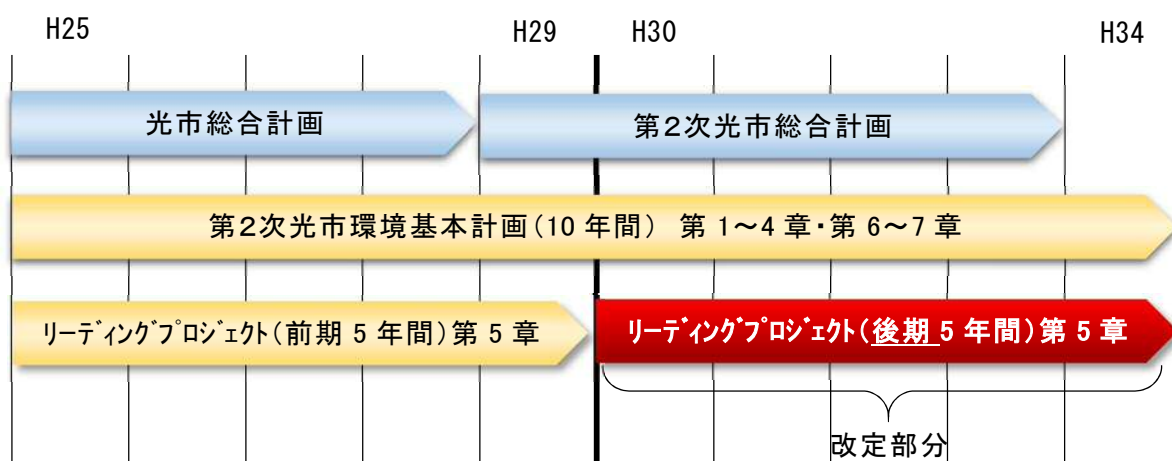
1	リーディングプロジェクト改定にあたり	16
2	前期5年間におけるリーディングプロジェクトの 取組状況及び評価・検証	18
3	環境データ	38

リーディングプロジェクト改定にあたり

1 基本的な考え方

第2次光市環境基本計画は、平成25年度から平成34年度の10年間を計画期間として策定しましたが、このうち、行動計画部分であるリーディングプロジェクト（第5章）については、5年を目途に見直すとしていましたことから、前期5年間ににおける進捗状況や第2次光市総合計画、社会情勢の変化等を踏まえ、今、取り組むべき課題の解決や重点的に取り組もうとする施策や事業の実施に向けた見直しを行います。

なお、中間見直しとなることから、目指すべき環境像や基本方針といった基本的な方向性は変わりません。



2 本市を取り巻く社会・環境状況の変化

平均気温の上昇や異常気象の発生、海面上昇や生態系への影響等、地球温暖化による影響がますます深刻化する中で、平成27年12月に開催されたCOP21において、気候変動に関する国際的な枠組みである「パリ協定」が採択され、今世紀後半には、人間活動による温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにするという方向性が打ち出されました。

また、国においては、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため「地球温暖化対策計画」が策定され、パリ協定等を踏まえた具体的な目標や取組みが示されるとともに、生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)や進行する地球温暖化がもたらす気候変動に適応する社会の構築といった取組みも示されています。

本市においては、省エネ生活普及促進事業の実施や防犯灯のLED化、公共施設における太陽光発電システムの設置、省エネ活動キャンペーンの実施、クリーン光大作戦の実施等、様々な環境保全、配慮活動に取り組むとともに、市域全体の環を広げる取り組みを進めてきました。また、日本の森・滝・渚全国

協議会の震災復興支援事業を通して、自然環境の厳しさや尊さを学ぶことで、市民の自然敬愛意識の醸成を図る機会となりました。

今後は、これまでの取組みをさらに深化させていくとともに、地球環境の改善や本市の豊かな自然を後世に継承していくため、次代を担う子どもたちに環境問題の現状を正しく認識してもらい、自らがなすべきことを考え、行動する風土の醸成に努めていく必要があります。

3 改定の視点

(1) 前期5年間における取組状況の検証

前期5年間におけるリーディングプロジェクトの進捗状況や環境市民アンケートの結果等から、後期5年間において取り組むべきものを抽出します。

(2) 第2次光市総合計画を踏まえた施策の展開

本計画の上位計画となる「第2次光市総合計画」が策定され、「20年後の“目指す将来像”」とともに、まちの具体的なイメージが示されたことを踏まえ、環境の分野として今後5年間に取り組むべきことを示します。

(3) 時代の潮流に対応した施策の展開

社会経済情勢や環境行政を取り巻く状況の変化に的確に対応しながら、多様かつ喫緊の環境問題の解決に向けて取り組むべきものを抽出します。

前期5年間におけるリーディングプロジェクトの取組状況及び評価・検証

本計画の前期5年間において、重点的かつ優先的に取り組む施策をリーディングプロジェクトとして位置付け、PDCAサイクルに基づく進捗管理を行いながら取り組んできました。

また、指標の達成状況を把握するため、平成29年度に市民アンケートを実施しました。

1 光ソーラーCITYプロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入促進	地球環境への負荷低減等を目的に、自らが居住する住宅に太陽光発電システムや太陽熱利用システムの設置を促進します。 ／環境政策課	省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）を実施し、住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システム設置に対する補助を実施しました。 ・太陽光発電システム補助件数 H25 104件 H26 74件 H27 64件 H28 55件 H29 44件 ・太陽熱利用システム補助件数 H25 1件 H26 10件 H27 2件 H28 1件 H29 1件
公共施設への太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入促進	地球環境への負荷低減等を目的に、公共施設への太陽光発電システムや太陽熱利用システムの設置を検討・促進します。 ／環境政策課 ／関係各課	公共施設へ太陽光発電システムを設置しました。 H26 学校給食センター H27 室積コミュニティセンター 農業振興拠点施設「里の厨」 H28 地域づくり支援センター
事業所用太陽光発電システムの導入促進の検討	地球環境への負荷低減等を目的に、事業所用太陽光発電システムの導入促進について検討します。 ／環境政策課	固定価格買取制度の開始により、システムの導入環境が改善されたことなどから、導入促進の必要性が低下しており、現時点での事業化は困難と判断しました。

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
地域特性にあった自然エネルギー資源の活用方策の研究	地域特性にあった自然エネルギーの新たな活用に関する取組みを調査・研究します。 ／環境政策課	持続可能な社会づくりへの機運の醸成を図るため、市民に自然エネルギーや環境問題に関する知識や理解を深める場を提供しました。 ・再生可能エネルギーセミナー開催回数 H26 2回 H27 2回 ・エコスタイルセミナー開催回数 H28 2回
メガソーラー発電所の進出促進	情報収集を行うとともに、庁内関係課が連携し、メガソーラー発電所の進出を促進します。 ／商工観光課 ／環境政策課	ゴルフ場跡地にメガソーラー発電所を立地しようとする事業者や周辺住民との情報交換等、立地に向けた支援を行い、平成29年2月に竣工しました。

（２）数値目標

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
①住宅用太陽光発電システム設置の普及率 (3月末)	5.4%	10.4%	10.0%	104.0%
②公共施設における太陽光発電システムの設置件数	8件	12件	13件	92.3%

※近況値出典【年度】：①資源エネルギー庁【28】
②環境政策課【28】

◆参考値

項 目	策定時 (H24)	近況値 (H28)
太陽光などの自然エネルギーに関心がある人の割合	73.0%	67.0%

（３）５年間の成果及び今後の課題

本プロジェクトでは、住宅用太陽光発電システムや太陽熱利用システムの普及促進のため、市民の財政的な負担軽減や理解促進を目的とした取組みを

進めてきました。

省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）では、5年間で356件の支援を行いました。また、公共施設における太陽光発電システムの設置については、学校給食センターや室積コミュニティセンター等4施設への設置を実施し、自然エネルギーの活用に寄与することができましたが、費用対効果等の面から設置を見送った施設が1件ありました。

こうした取組みにより、住宅用太陽光発電システム設置の普及率は目標を上回り、一定の成果があったものと考えられることから、今後は、「創エネ」から「省エネ」の取組みの強化にシフトしていく必要があります。

とりわけ、LED化の推進については、第2次光市総合計画の「光・未来創生プロジェクト」のひとつとして掲げられていることから、重点的に取り組んでいく必要があります。

2 STOP地球温暖化プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
電気自動車等の低公害車の導入及び普及	公用自動車への電気自動車等の低公害車の導入による普及・啓発を図ります。 ／総務課 ／環境政策課 ／関係各課	公用自動車に電気自動車を導入しました。 H25 1台 H27 2台 農業振興拠点施設「里の厨」に電気自動車急速充電器を設置しました。 H25 設置工事設計業務実施 H26 充電器設置 利用者アンケート調査実施 H27 今後の方向性の検討 H28 カード認証方式へ移行 [利用時間延長] ・4月～9月：9時～18時 ・10月～3月：9時～17時 ⇒年間通して9時～21時へ
地域公共交通の充実及び普及	交通事業者等との連携によるバスなどの公共交通機関の充実を図ります。 ／商工観光課	室積地区（伊保木）でモデル事業として取り組んできたコミュニティ交通事業の実用化を図りました。 県下一斉ノーマイカーデーに協力しました。 「エコマルチャレンジデー」において、市営バスの一定期間無料運行を実施しました。
市域全体での省エネルギー運動の推進	各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進します。 ／環境政策課	12月を「市域全体での省エネルギー運動」に取り組む月間とするとともに、12月第3日曜日を重点行動日「エコマルチャレンジデー」と位置付け、啓発活動や市営バス一定期間無料運行等を実施しました。
省エネルギー製品の導入促進	地球環境への負荷低減等を目的に、自らが居住する住宅に省エネルギー製品の設置を促進します。 ／環境政策課	省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）を実施し、既存住宅への省エネルギー設備（蓄電池やエネファーム、二重サッシ、LED照明設備等）の設置に対する補助を実施しました。 ・省エネルギー設備補助件数 H25 280件 H26 258件 H27 169件 H28 172件 H29 195件

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
街路灯の省エネルギー化の推進	水銀ランプから高圧ナトリウムへの改良を促進します。 ／生活安全課 ／関係各課	必要に応じて順次改良を行いました。 ・省エネルギー化率 H25 19.6%（166本／847本） H26 19.7%（162本／821本） H27 21.2%（172本／812本） H28 24.5%（199本／811本） H29 25.9%（211本／814本）
緑のカーテンの普及促進	公共施設への設置や緑のカーテンコンテストの実施など、普及促進を図ります。 ／環境政策課	本庁舎やあいばーく光、各小中学校などに緑のカーテンを設置しました。また、成果発表の場として「緑のカーテンコンテスト」や「パネル展示」を実施しました。 ・緑のカーテンコンテスト応募件数 H25 28件 H26 30件 ・パネル展示実施箇所数 H27 3箇所 H28 3箇所 H29 3箇所
地球温暖化に関する環境学習の推進	環境意識の向上を図るため、地球温暖化に関する講座を実施します。 ／環境政策課	小学校の総合学習の時間等に講師を派遣し、環境学習の支援を行う「環境学習支援事業」の学習分野「地球温暖化」に対し、地球温暖化対策地域協議会会員を講師に環境学習を実施しました。 H25 4回 H26 2回 H27 4回 H28 2回 H29 2回
市の率先行動（エコオフィスプラン）による地球温暖化対策の推進	本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出抑制の取組みを進め、地球温暖化対策の推進を図るとともに、職員の環境意識の向上に努めます。 ／環境政策課	本庁及び出先機関からの温室効果ガス排出量について、一定の削減を目標に取り組みました。 ・平成21年度比 H25 3.0%／3%削減目標 H26 6.6%／4%削減目標 H27 9.2%／5%削減目標 ・平成26年度比 H28 0.5%／1%削減目標

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
地球温暖化対策地域協議会の活動支援	環境意識の向上と地域の温室効果ガスの削減を目指し、活動を支援します。 ／環境政策課	会の目的を達成するための事業について、市と共催で実施しました。 H25 緑のカーテンコンテスト 環境学習 施設見学ツアー H26 緑のカーテンコンテスト 環境学習 再生可能エネルギーセミナー 市域全体での省エネルギー運動 H27 環境学習 再生可能エネルギーセミナー 市域全体での省エネルギー運動 H28 環境学習 エコスタイルセミナー 市域全体での省エネルギー運動 H29 環境学習 エコスタイルセミナー 市域全体での省エネルギー運動

（２）数値目標

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
①市域全体からの温室効果ガス排出量 (推計値)	1,948 千t-CO ₂	2,038 千t-CO ₂	1,867 千t-CO ₂	91.6%
②市の施設からの温室効果ガス排出量	9,503 t-CO ₂	9,038 t-CO ₂	9,027 t-CO ₂	99.9%
③公用車における低公害車の導入率	8.1%	10.4%	15.0%	69.3%
④街路灯の省エネルギー化率	12.3%	24.5%	35.0%	70.0%
⑤省エネルギーの推進など温暖化対策の状況 に関する満足度	42.1%	56.8%	60.0%	94.7%

※近況値出典【年度】：①環境省推計値【26】
 ②環境政策課【28】
 ③財政課【28】
 ④生活安全課【28】
 ⑤環境市民アンケート【29】

◆ 参考値

項 目	策定時 (H24)	近況値 (H28)
省エネルギーに心がけている人の割合	86.3%	85.2%

(3) 5年間の成果及び今後の課題

本プロジェクトでは、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出抑制をはじめとする地球温暖化防止のための取組みを進めてきました。

省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)では、LED照明や蓄電池、二重サッシ等の省エネルギー設備の導入に対し、5年間で1,074件の支援を行いました。

また、地球温暖化対策地域協議会と連携した省エネルギー運動やセミナー、エコフェスタの開催により、地球温暖化防止に対する理解促進、啓発に努めました。

さらに、すべての防犯灯をLED化することで、長寿命化や省エネルギー化に資することはもとより、市民の安全・安心の確保に努めました。

こうした取組みにより、温暖化対策の状況に関する満足度は14.7ポイント上昇し、一定の成果はあったものと考えられますが、今後も、市域全体で温室効果ガス排出抑制に取り組む機運の醸成を図るとともに、地球温暖化が進行する中で、一人ひとりが現状を正しく認識し、取組みにつなげるための効果的な機会をさらに充実させていく必要があります。

3 人と自然のハーモニープロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
森林経営計画に基づく整備・保全	計画的な造林や保育等により、森林の適正な管理・保全を推進します。 ／水産林業課	年次的に森林経営計画を策定するとともに、平成28年度は改定を行いました。 H25 光（西）団地 約696ha 《浅江・三井・立野・小周防》 H26 大和団地 約1,340ha H27 光（中）団地 約660ha 《室積・光井・島田・立野・小周防》 光（東）団地 約90ha 《室積東部》 H28 光（西）団地 約1ha 光（中）団地 約11ha 大和団地 約2ha } 追加面積
自然環境や景観と調和した光漁港海岸（室積海岸）の保全対策の推進	台風等により侵食された海岸の保全対策や高潮対策を推進します。 ／水産林業課	室積海岸侵食防止対策方針を決定するため、養浜や流砂の調査による侵食の動向確認を行いました。また、高潮対策工事に向けた調査を行うとともに、高潮堤防工事を実施しました。
貴重な動植物の保護・育成	モクゲンジ等天然資源の保護・育成を推進します。 ／水産林業課 ／文化・社会教育課	モクゲンジの開花状況やタブノキの生育状況を確認しました。また、ヒトツバハギについては、生育状況を確認するとともに、保護を目的とした周囲の草刈りを実施しました。
鳥獣被害防止対策の推進	イノシシやサル等有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等、被害防止対策を推進します。 ／水産林業課	有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地等への防護柵設置等の被害防止対策の補助を実施しました。 ・捕獲数 H25 イノシシ 444 頭、サル 3 頭 H26 イノシシ 330 頭、サル 2 頭、カラス 49 羽 H27 イノシシ 216 頭、サル 1 頭 H28 イノシシ 172 頭、サル 7 頭 ・補助件数 H25 118 件 H26 113 件 H27 96 件 H28 79 件

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
環境学習・自然体験学習等の推進	自然体験型学習を実施し、自然に対する保全意識などの高揚を推進します。 ／環境政策課	自然環境の素晴らしさや環境保全の大切さ等を学ぶ学習会を実施しました。 ・「親と子の水辺の教室」参加者数 H25 73人 H26 81人 H28 154人 H29 70人 ・「ひかりエコ自然塾」参加者数 H25 22人 H26 48人 H27 38人 H28 38人
特定外来生物対策の推進	生態系のバランスを保つため、特定外来生物の拡散防止対策を推進します。 ／環境政策課	特定外来生物指定のアルゼンチンアリについて、生息域である室積地区4自治会（H28から3自治会）の各世帯にベイト型殺虫剤を配布して一斉防除を実施するとともにモニタリング調査を実施しました。
自然環境を活かしたスポーツ・レクリエーション活動の推進	自然環境を有効に活用し、市民のレクリエーション活動を推進します。 ／体育課 ／関係各課	自然とふれあいながら楽しむウォーキング大会等を実施しました。 - H25 「ひかりふるさとウォーク in 石城山神籠石」44人 - H26 「梅まつりコバルトウォーク」508人 「藤公の里ふるさとウォーク」187人 - H27 「藤公の里ふれあいウォーク」92人 - H28 「2016 サンセットビーチラン Hikari」109人 「藤公の里ふれあいウォーク 2016 in 秋」59人 「梅まつりコバルトウォーク」485人 - H29 「2017 サンセットビーチラン Hikari」100人

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
白砂青松 10 万本 大作戦の推進	松の植栽を通じて、自然 敬愛を広く呼びかける とともに、海岸松林の整 備による潤いと安らぎ の場の充実のため、市民 との協働による黒松植 栽・松林管理を実施しま す。 ／水産林業課	室積・虹ヶ浜海岸松林において、市民ボラ ンティアによる黒松植栽及び松林の保全管 理を実施しました。 ・黒松植栽本数 H25 400 本 H26 400 本 H27 430 本 H28 230 本 ※H29.3.31 全体本数 42,347 本
どんぐりランドの 整備	どんぐりの森を整備す るため、「どんぐり・まつ ぼっくり教室」の開催や クヌギの植栽などを実 施します。 ／水産林業課	「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催し、森 林学習や種まき・植栽体験等を通して、自然の 大切さについての啓発を実施しました。 H25 50 人（20 家族） H26 50 人（16 家族） H27 25 人（9 家族） H28 36 人（13 家族）
市民の森自然観察 林の整備	市民の森自然観察林の 整備による自然に対す る保全意識の高揚を図 ります。 ／水産林業課	維持管理として、12 箇所の下刈や樹木の剪定、 枯損木の伐採を実施しました。
安全でおいしい水 の安定的供給	安全でおいしい水の安 定的供給に努めます。 ／水道局	水道水供給のための基幹施設の補強や改修 工事を実施するとともに、老朽管の布設替 えや耐震化、水道管内の洗浄を実施しまし た。 ・補強または改修工事 H25 ろ過池補強 H26 第 2 取水ポンプ所建屋補強 H28 沈殿池設備改修 ・布設替え H25 5.1km H26 5.3km H27 5.7km H28 5.8km ・耐震化率 H25 30.6% H26 32.4% H27 34.5% H28 36.4% ・水道管内洗浄 H28 大和配水池系統 H29 島田、浅江、三井、上島田、立野

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
公共下水道の普及等による水環境の保全	公共用水域の水質保全と市民の生活衛生環境の向上を図るため、公共下水道の計画的整備や浄化槽の設置を促進します。 ／下水道課	室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図り、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図りました。 ・処理区域面積 - H25 927ha - H26 939ha - H27 964ha - H28 968ha ・普及率 - H25 78.6% - H26 79.1% - H27 79.6% - H28 80.0% 生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、浄化槽設置に対する助成を実施しました。 ・下水道認可区域外 - H25 27基 - H26 24基 - H27 22基 - H28 21基 - H29 15基 ・下水道認可区域内 - H25 3基 - H26 10基 - H27 5基 - H28 8基 - H29 7基
公害防止対策の推進	大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進します。 ／環境政策課	大気・水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応を徹底しました。
無電柱化による歩行環境の整備	国道の無電柱化を推進します。 ／道路河川課	中央六丁目から光井三丁目までの国道の無電柱化を実施しました。 - H25 本体工事の実施 - H26 本体工事完了 - H27 施設整備完了 - H28 電柱撤去 - H29 電柱を全て撤去し事業完了

(2) 数値目標

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
①竹林の面積(3月末)	413ha	353ha	400ha	113.3%
②環境学習・自然体験学習等の開催数	8回	6回	10回	60.0%
③山や森林などの自然の緑の美しさに関する満足度	81.1%	82.0%	90.0%	91.1%
④鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	77.4%	80.9%	90.0%	89.9%
⑤森・川・海などの自然とふれあっている人の割合	60.4%	58.7%	70.0%	83.9%
⑥生活環境の快適さ(騒音や悪臭がないこと)に関する満足度	75.6%	71.6%	85.0%	84.2%

※近況値出典【年度】: ①水産林業課【28】
 ②環境政策課【28】
 ③～⑥環境市民アンケート【29】

◆参考値

項 目	策定時 (H24)	近況値 (H28)
川や山などの自然環境保全の満足度	44.6%	45.2%

(3) 5年間の成果及び今後の課題

本プロジェクトでは、「自然敬愛都市宣言」のまちとして、本市が誇る美しく豊かな自然を守り、後世に引き継いでいくための取組みを進めてきました。

本市を代表する自然景観である室積海岸では、侵食被害が顕著となっていることから、養浜を行うとともに、今後の防止に向けた方針を決定するための測量や調査等を行いました。

また、市民と協働で「どんぐり・まつぼっくり教室」や「ひかりエコ自然塾」といった環境学習を実施するとともに、松の植栽や海岸松林の保全活動等を通して、自然とふれあい、敬愛する意識の醸成を図りました。

さらに、安全でおいしい水道水の安定的供給のため、水道管の布設替えや耐震化を実施するとともに、公共下水道の整備促進等により、水環境の保全

に取り組みました。

こうした取組みにより、自然環境に対する満足度は上昇傾向にあり、引き続き、自然がもたらす恩恵に感謝するとともに、後世に継承するため、学習する場の提供や理解促進を図る取組みを進めていく必要があります。

また、生活環境については満足度が低下しており、人にやさしく住みよい環境の整備に向け、さらなる取組みの強化が必要です。

4 MOTTAINAI プロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
もったいない文化の醸成	ふろしきを「もったいない」のシンボルとして普及を図り、日本古来の伝統である「もったいない文化」を継承し、地球環境に負荷をかけないライフスタイルの普及を図ります。 ／環境政策課 ／環境事業課	本市オリジナル「もったいないふろしき」を、市役所受付や浅江出張所、農業振興拠点施設「里の厨」、冠山総合公園で販売しました。 ・販売数 H25 33 枚 H26 26 枚 平成 27 年度からは、ふろしきの普及促進のため、環境政策課窓口において、季節ごとのふろしき活用法を展示しました。 「エコフェスタ」や「ひかりふるさとまつり」においてマイバッグを配布し、使い捨て商品の削減について啓発を実施しました。
生ごみリサイクルの推進	「段ボールコンポスト」などを活用した生ごみの堆肥化を推進するとともに、地産地消運動とリンクした新たな生ごみリサイクルの構築に努めます。 ／環境事業課	生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して、助成を実施しました。 ・電動式生ごみ処理機 H25 15 件 H26 15 件 H27 13 件 H28 9 件 ・コンポスト容器 H25 3 件 H26 6 件 H27 5 件 H28 8 件 ・段ボールコンポスト H25 91 件 H26 80 件 H27 61 件 H28 34 件
不用品交換システムの充実	市民の不用品情報や近隣フリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図ります。 ／環境事業課	ごみの排出抑制や再使用を促進するための不用品交換システム「リユースネットひかり」を実施しました。 ・譲ります H25 登録 115 件 成立 85 件 H26 登録 112 件 成立 92 件 H27 登録 110 件 成立 58 件 H28 登録 101 件 成立 69 件

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
		・譲ってください H25 登録 40 件 成立 14 件 H26 登録 104 件 成立 40 件 H27 登録 105 件 成立 32 件 H28 登録 96 件 成立 31 件 平成 25 年度に子ども用品を扱う「リユースキッズひかり」事業を開始し、周知、利用促進に取り組みました。 H25 登録 107 件 成立 90 件 H26 登録 112 件 成立 102 件 H27 登録 141 件 成立 112 件 H28 登録 152 件 成立 128 件
紙製容器包装等の再資源化の促進	焼却処分している再資源化可能な紙製容器包装類についての再資源化方策について検討します。 ／環境事業課	資源回収品のうち紙製容器包装類の収集単価を高くし、再資源化の促進を図りました。 ・回収量 H25 817 t H26 752 t H27 729 t H28 680 t
事業者等のごみの発生抑制や減量、再資源化の促進と支援	エコショップ認定制度の充実など事業者等の自主的な取組みを促進します。 ／環境事業課	市内店舗の認定とともに制度の啓発活動に取り組みました。 ・エコショップ認定店舗数 H25 9 店舗 H26 9 店舗 H27 12 店舗 H28 12 店舗
世代に応じた環境学習の推進	正しい分別や環境意識の向上を図るため、各世代に対する要望に応じた環境学習を実施します。 ／環境事業課	世代に応じた環境学習を実施しました。 ・幼保園児 H25 7 保育園 4 幼稚園 H26 4 保育園 4 幼稚園 H27 7 保育園 3 幼稚園 H28 5 保育園 4 幼稚園 ・小中児童、生徒 H25 12 小学校 H26 10 小学校 H27 12 小学校 H28 10 小学校 5 中学校 ・一般向けごみ分別出前講座 H25 15 団体 H26 8 団体 H27 12 団体 H28 12 団体

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
市民ニーズに対応した収集サービスの実施	市民ニーズに対応したごみ収集システムの確立に努めます。 ／環境事業課	分解して排出することが困難な可燃粗大ごみ等を個別に訪問し収集しました。 ・個別訪問収集件数 H25 530件 1,286品 H26 538件 1,360品 H27 628件 1,408品 H28 606件 1,461品 祝日収集（ハッピーマンデー）を各年度3日実施しました。
ごみ処理の有料化※	光市廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市の現状等について調査・研究に努めます。 ／環境事業課	関係市の導入意向がないことから、実施を見送りました。
有機性廃棄物の堆肥化※	有機性廃棄物の堆肥化について、調査・研究を行います。 ／農業耕地課	先進事例の調査・研究から、費用対効果や安定的な利用先の確保等に課題があり、現時点での事業化は困難と判断しました。

※は未実施事業

（２）数値目標

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
①1人1日あたりのごみの排出量	965 g	926 g	900 g 以下	97.2%
②リサイクル率	28.3%	27.8%	32.0%	86.9%
③ごみの最終処分量	1,462 t	1,187 t	1,200 t 以下	101.1%
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	76.5%	75.2%	85.0%	88.5%
⑤使い捨て製品の購入を控える人の割合	73.3%	69.0%	85.0%	81.2%

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
⑥生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	49.1%	42.2%	60.0%	70.3%
⑦不用品のバザーやフリーマーケットに参加している人の割合	41.1%	35.1%	50.0%	70.2%

※近況値出典【年度】：①～③環境事業課【28】

④～⑦環境市民アンケート【29】

◆参考値

項 目	策定時 (H24)	近況値 (H29)
ごみの分別をきちんと行っている人の割合	94.0%	95.7%

(3) 5年間の成果及び今後の課題

本プロジェクトでは、物を大切にする「もったいない」という日本古来の精神文化の継承を掲げ、ごみの分別や資源の循環を徹底するための取組みを進めてきました。

不用品交換システム「リユースネットひかり」事業の実施に加え、新たに子ども用品に特化した「リユースキッズひかり」事業を開始し、ごみの排出抑制や再利用のさらなる推進を図りました。

また、世代に応じた環境学習やごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施により、市民のごみ問題に関する意識啓発、理解促進を図るとともに、ごみ分別アプリの導入により、適切な分別方法の周知徹底を図りました。

こうした取組みにより、ごみの排出量は減少しましたが、ごみ減量等に関する市民意識は低下傾向にあることから、環境学習等による環境意識の向上を図るとともに、市民ニーズに対応した取組みの強化を図る必要があります。

5 まち美化パートナーシッププロジェクト

(1) 5年間の主な取組状況

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
クリーン光大作戦の推進	市民の自然敬愛精神の醸成と青少年の社会参加活動の促進のため、年1回河川・海岸及び自治会内道路等の清掃活動を実施します。 ／文化・社会教育課	毎年7月にクリーン光大作戦を実施しました。 ・参加者数 H25 17,217人 H26 13,027人 H27 14,149人 H28 16,522人 H29 15,869人
アダプト・プログラムの推進	環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムの推進を図ります。 ／地域づくり推進課 ／関係各課	事業実施団体に対し、ごみ袋等の支給や、市民活動補償制度の適用等により活動を支援しました。 ・登録団体数 H25 14団体 H26 14団体 H27 16団体 H28 16団体 H29 18団体
市民参加による緑化活動の推進	市民の自主活動による花と緑の保全活動を推進します。 ／都市政策課 ／関係各課	市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設等の緑化を図りました。 ・花壇コンクール参加団体数 H25 75団体 H26 77団体 H27 79団体 H28 77団体 H29 74団体 ・誕生記念植樹本数（ソメイヨシノ） H25 100本 H26 100本 H27 91本（うちメインツリー1本） H28 59本（うちメインツリー1本） ・新市誕生10周年記念植樹 H26 ウメ1本 クロマツ1本
犬の飼い方教室の実施	「動物の飼い方マナーアップ強化期間」に合わせ、愛犬のふん害やむだ吠えなどの対応として「犬の飼い方教室」を実施します。 ／環境政策課	飼い主のマナー向上と犬の正しいしつけをするため、光市民ホール前庭で「犬の飼い方教室」を実施しました。 ・参加者数 H25 13人 H26 20人 H27 45人 H28 28人

施策・事業例	内容／担当課	取組状況（H25.4～H29.9）
自然海岸の清掃活動の実施	市民との協働による自然海岸の清掃活動を推進します。 ／文化・社会教育課 ／関係各課	海岸のごみ拾いや草刈り等、クサフグ産卵観察地周辺の清掃活動を実施しました。
街路樹や植樹帯の整備	都市環境の保全を図るため、街路樹や植樹帯の適正な維持管理を実施します。 ／都市政策課	花と緑のやすらぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒等により、適正な維持管理を実施しました。
街区公園、近隣公園等の整備	安全で快適に利用できる街区公園、近隣公園等の整備を行います。 ／都市政策課	安全で快適な街区公園等を提供するため、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに、遊具の安全点検や施設の修繕等、公園の適正な維持管理を実施しました。
市民参加による景観形成の推進	市民との協働による景観の保全と形成を推進します。 ／都市政策課	良好な景観の保全と形成を進めるため、「光市景観計画」を策定するとともに、「光市景観形成ガイドライン」を作成し、周知に努めました。 H25 策定市民協議会を3回開催 「光市景観計画」策定 H26 市民や事業者に景観計画の内容を解説・例示するため「光市景観形成ガイドライン」を作成 H27～H29 「光市景観計画」及び「光市景観形成ガイドライン」の周知 H29 良好な景観に関する市民意識の高揚を図るため「ふるさとひかりの景観10選」を実施

（２）数値目標

環境指標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
①クリーン光大作戦の参加者数	20,553 人	15,869 人	21,000 人	75.6%
②まちの清潔さに関する満足度	53.1%	53.5%	65.0%	82.3%

環 境 指 標	策定時 (H24)	近況値 (A)	目標値 (B) (H29)	達成率 (A) / (B) ×100
③地域で花や木を植える緑化活動に参加している人の割合	18.5%	14.9%	25.0%	59.6%
④地域、自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	72.2%	76.1%	85.0%	89.5%

※近況値出典【年度】：①文化・社会教育課【29】
②～④環境市民アンケート【29】

◆参考値

項 目	策定時 (H24)	近況値 (H28)
良好な景観の形成に心がけている人の割合	68.9%	70.4%
快適な居住空間の整備の満足度	36.4%	38.3%

(3) 5年間の成果及び今後の課題

本プロジェクトでは、自助・互助・共助・公助の調和を基本とした連携と協働による、清潔で美しいまちづくりに向けた取組みを進めてきました。

アダプト・プログラムの推進により、環境美化ボランティア団体の登録数は増加してきており、市民の自主的な環境美化、緑化活動による地域の環境保全に対する意識の高まりがうかがえます。

また、公園や植樹帯等の適切な維持管理により、やすらぎや潤いのあるまちづくりを進めてきました。

こうした取組みにより、市民、事業者、市が一体となって自然環境の保全や快適環境を創造する機運の醸成を図ってきましたが、本市を代表する市域全体での取組みとして定着している「クリーン光大作戦」の参加人数は減少傾向にあり、啓発の強化や市民の環境意識の向上に向けた取組みが必要です。

環境データ

本計画における「資料編」のうち、「資料1 光市の環境の現状」において、経年変化により変動する様々な項目について新たなデータを示します。

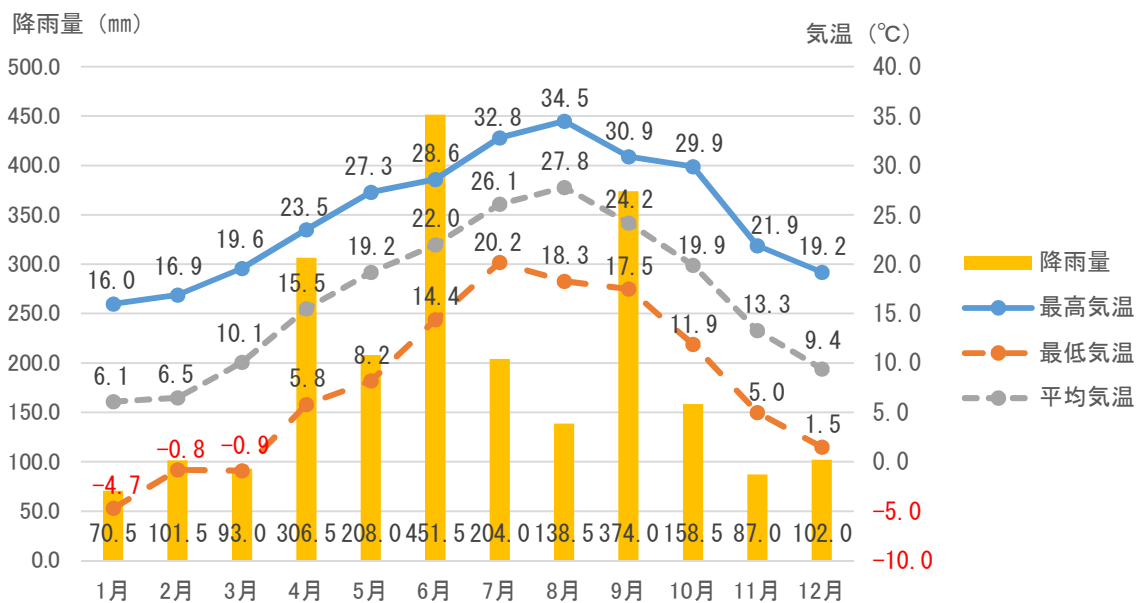
1 自然共生社会に関する環境

(1) 気象

近年の気温及び降雨量

年 次	気温 (°C)			降雨日数	降雨量 (mm)	
	最高	最低	平均		年間降雨量	月平均
平成 24 年	34.4	-4.0	15.5	114 日	1,533.5	127.8
平成 25 年	34.4	-2.7	16.0	100 日	1,971.5	164.3
平成 26 年	34.6	-1.8	15.7	120 日	1,603.0	133.6
平成 27 年	34.2	-2.1	16.0	121 日	1,796.5	149.7
平成 28 年	34.5	-4.7	16.6	129 日	2,295.0	191.3

平成 28 年月別気温及び降雨量



(出典：光市統計書)

（２）自然・文化資源

①自然資源の状況

変化はありません。

②歴史資源の状況

本市光井在住の金工彫金作家である山本晃氏が、平成２６年１０月に国の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。



（３）生物多様性

変化はありません。

(4) 大気

①二酸化硫黄

平成28年度における二酸化硫黄の環境基準適合状況より、年度平均値は0.001～0.003ppm、日平均値は（2％除外値）は0.003～0.007ppm、1時間値の最高値は0.013～0.017ppmであり、環境基準を超えた時間及び日数はなく、長期的評価による環境基準を達成しています。

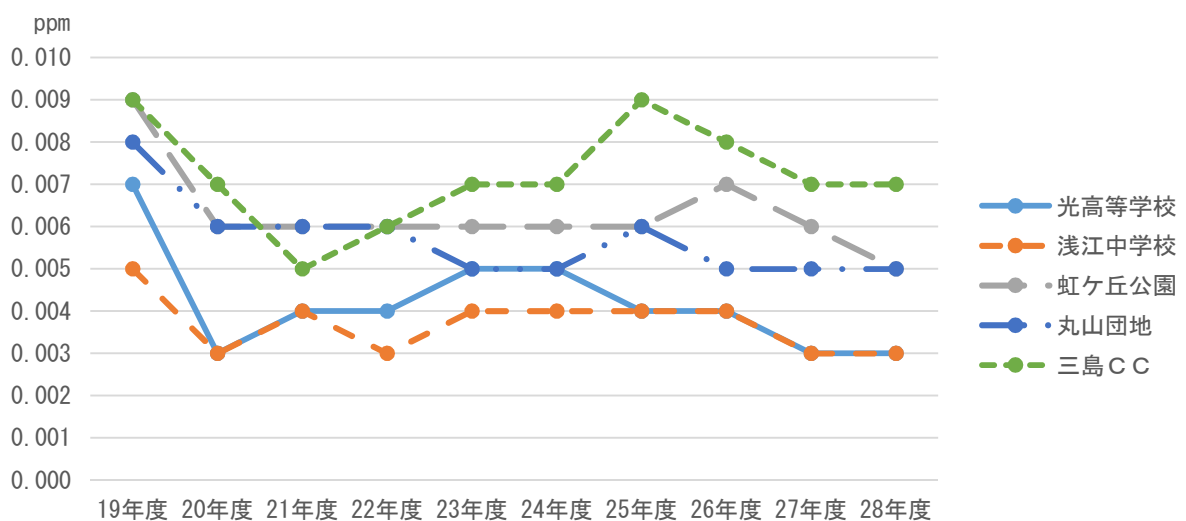
平成28年度 二酸化硫黄の環境基準適合状況

測定局	有効測定日数	測定時間数	年度 平均値	1時間値 (環境基準：0.1ppm以下)			日平均値 (環境基準：0.04ppm以下)			長期的評価による 環境基準への適否
				最高値	環境基準を超えた時間数と割合		2%除外値	環境基準を超えた時間数と割合		
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(ppm)	(日)	(%)	
光高等学校	357	8,543	0.001	0.016	0	0	0.003	0	0	○
浅江中学校	363	8,650	0.001	0.016	0	0	0.003	0	0	○
虹ヶ丘公園	363	8,683	0.003	0.014	0	0	0.005	0	0	○
丸山団地	356	8,597	0.003	0.013	0	0	0.005	0	0	○
三島C	363	8,681	0.003	0.017	0	0	0.007	0	0	○

◇環境基準：1時間値の日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。

◇長期的評価の適合条件：日平均値の2％除外値が、日平均値の環境基準値以下であり、かつ日平均値が環境基準値を超えた日が2日以上連続しないこと。

二酸化硫黄における日平均値（2％除外値）の経年変化



(出典：山口県環境白書、光市の環境)

②浮遊粒子状物質

平成28年度における浮遊粒子状物質の環境基準適合状況より、年度平均値は0.009～0.016mg/m³、日平均値（2％除外値）は0.020～0.040mg/m³、1時間値の最高値は0.550mg/m³であり、環境基準を超えた時間数は3時間（0％）で、環境基準を超えた日数はなく長期的評価による環境基準を達成しています。

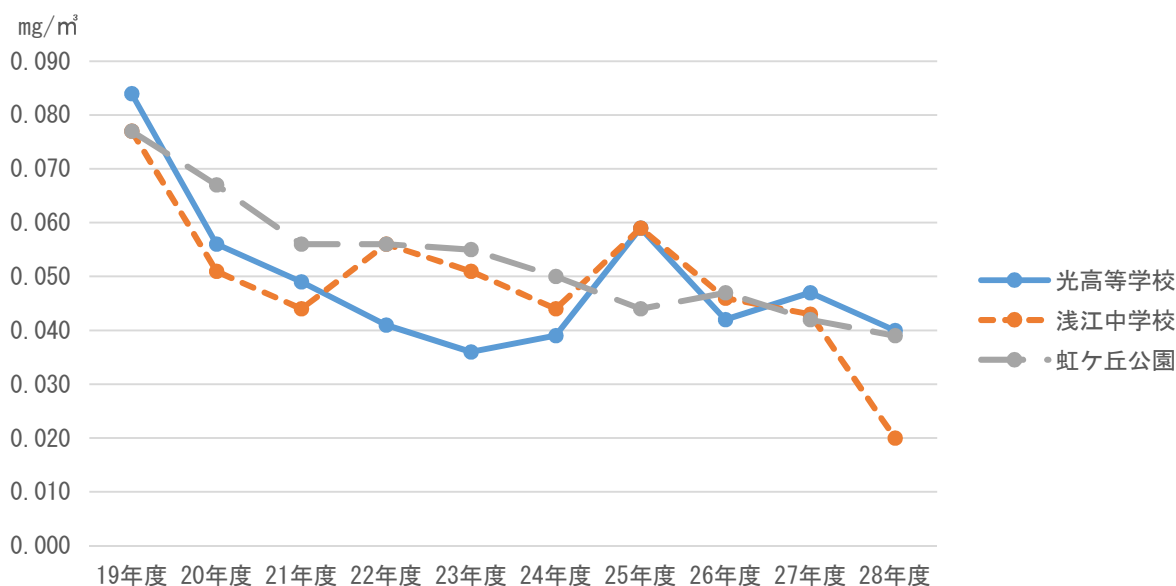
平成28年度 浮遊粒子状物質の環境基準適合状況

測定局	有効測定日数	測定時間数	年度 平均値	1時間値 (環境基準：0.2mg/m ³ 以下)			日平均値 (環境基準：0.1 mg/m ³ 以下)			長期的評価による 環境基準への適否
				最高値	環境基準を超えた時間数と割合		2%除外値	環境基準を超えた日数と割合		
	(日)	(時間)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(時間)	(%)	(mg/m ³)	(日)	(%)	
光高等学校	365	8,719	0.014	0.135	0	0	0.040	0	0	○
浅江中学校	365	8,725	0.009	0.098	0	0	0.020	0	0	○
虹ヶ丘公園	363	8,686	0.016	0.550	3	0	0.039	0	0	○

◇環境基準：1時間値の日平均値が0.1mg/m³以下であり、かつ1時間値が0.2mg/m³以下であること。

◇長期的評価の適合条件：日平均値の2％除外値が、日平均値の環境基準値以下であり、かつ日平均値が環境基準値を超えた日が2日以上連続しないこと。

浮遊粒子状物質における日平均値（2％除外値）の経年変化



(出典：山口県環境白書、光市の環境)

③窒素酸化物

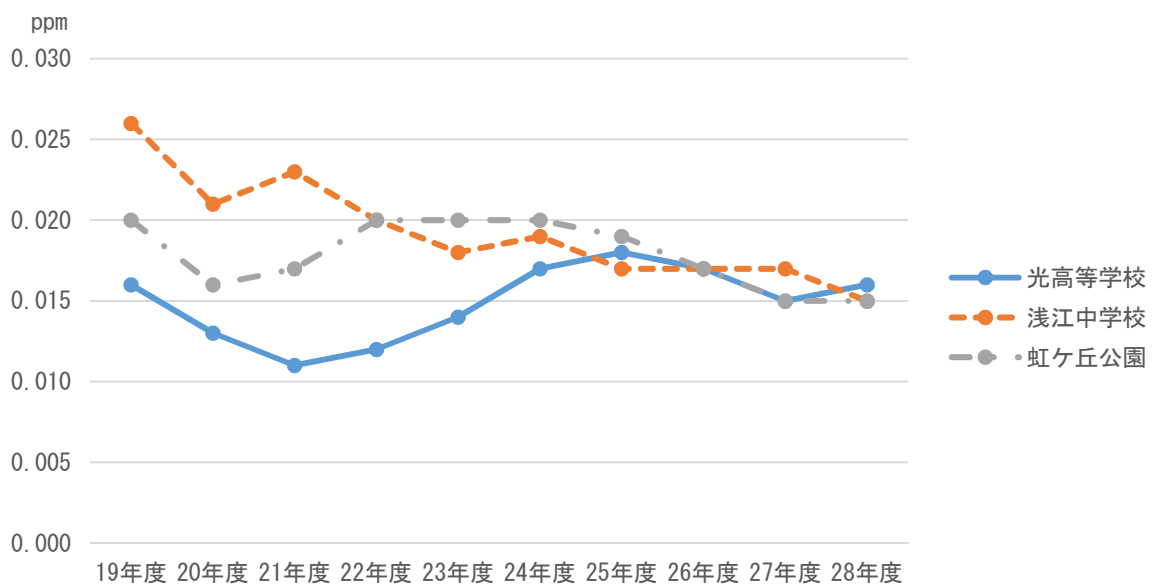
平成28年度における二酸化窒素の環境基準適合状況より、年度平均値は0.007～0.008ppm、日平均値(98%値)は0.015～0.016ppm、1時間値の最高値は0.040～0.051ppmとなっており、環境基準を超えた日はなく、98%値評価による環境基準も達成しています。

平成28年度 二酸化窒素の環境基準適合状況

測定局	有効測定日数	測定時間数	年度平均値	1時間値の最高値	日平均値 (環境基準：0.04～0.06ppm 以下)					98%値評価による環境基準への適否
					年間98%値	0.06ppmを超えた日数と割合		0.04ppm以上0.06ppm以下の日数と割合		
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(適：○)
光高等学校	361	8,643	0.007	0.051	0.016	0	0	0	0	○
浅江中学校	356	8,491	0.008	0.040	0.015	0	0	0	0	○
虹ヶ丘公園	363	8,664	0.007	0.043	0.015	0	0	0	0	○

◇環境基準：1時間値の日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、又はそれ以下であること。

二酸化窒素における日平均値(98%値)の経年変化



(出典：山口県環境白書、光市の環境)

④光化学オキシダント

平成28年度における光化学オキシダントの環境基準適合状況より、昼間の1時間値の平均値は0.033～0.037ppm、最高値は0.096～0.115ppm、環境基準を超えた時間数は398～573時間で、全測定時間数の7.4～10.6%となっており、概ね環境基準を達成しています。なお、オキシダント情報の発令は1日でした。

平成28年度 光化学オキシダントの環境基準適合状況

測定局	有効測定日数	測定時間数	年度 平均値	昼間の 1 時間値 (環境基準：0.06ppm 以下)					日 最 高 1 時 間 値 の 年 度 平 均 値	オキシダント 情報発令日数	
				最高値	0.06ppmを超 えた時間数と割合		0.12ppm以上の 時間数と割合			情報	特別 情報
	(日)	(時間)	(ppm)		(ppm)	(時間)	(%)	(時間)	(%)		
光高等 学 校	365	5,421	0.037	0.115	573	10.6	0	0	0.050	1	0
虹ヶ丘 公 園	364	5,408	0.033	0.096	398	7.4	0	0	0.047	—	—

◇測定は昼間6時～20時

◇環境基準：1時間値が0.06ppm以下であること。

(出典：山口県環境白書、光市の環境)

⑤微小粒子状物質

平成28年度における微小粒子状物質（PM2.5）の環境基準適合状況により、日平均値（98%値）は $26.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、年平均値は $11.7 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、環境基準を達成しています。

平成28年度 微小粒子状物質の環境基準適合状況

測定局	有効測定日数	年度平均値	日平均値の年間98%値	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		98%値評価及び年度平均値による環境基準への適否
	(日)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(%)	(%)
光高等学校	365	11.7	26.8	2	0.5	○

◇環境基準：1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

(出典：山口県環境白書)

(5) 水環境

①主要河川

平成28年度における島田川及び光井川水系の水質汚濁状況調査結果により、pH、BOD、SS、DOについては全ての測定点で環境基準を満たしていたが、大腸菌群数については、ほとんどの地点で環境基準を超える結果となっています。

平成28年度 島田川水系における水質汚濁状況調査結果

(年度平均値)

地点 項目	永代橋 (A類型)	笠野川 (島田川合流点上600m)	小野橋 (A類型)	束荷川 (島田川合流点上500m)
pH	7.3	7.6	7.4	7.7
BOD(75%値)	0.3(0.5)	0.3(0.6)	0.3(0.6)	0.3(0.6)
SS	1.3	1.5	1.5	2.0
DO	9.3	9.5	9.4	9.5
大腸菌群数	2.9E+04	1.5E+04	1.1E+04	4.2E+04

地点 項目	束荷川合流点下 100m(A類型)	束荷川合流点下 100m(A類型) (県)	三島橋 (A類型)	山田川 (島田川合流点上250m)
pH	7.4	7.4	7.4	7.7
BOD(75%値)	0.5(0.6)	0.7(0.8)	0.3(0.5)	0.5(0.6)
SS	2.0	3.0	2.0	6.0
DO	9.5	10.0	9.5	9.2
大腸菌群数	1.7E+04	1.1E+04	6.3E+03	3.1E+04

地点 項目	木下橋 (A類型)	千歳橋 (A類型)	千歳橋(A類型) (県)
pH	7.5	7.6	7.5
BOD(75%値)	0.1(ND)	0.1(ND)	0.8(0.9)
SS	1.8	2.0	2.0
DO	9.5	10.0	10.0
大腸菌群数	2.1E+04	6.6E+03	1.6E+04

◇pH：水素イオン濃度指数、BOD：生物化学的酸素要求量、SS：懸濁物質または浮遊物質、DO：溶存酸素

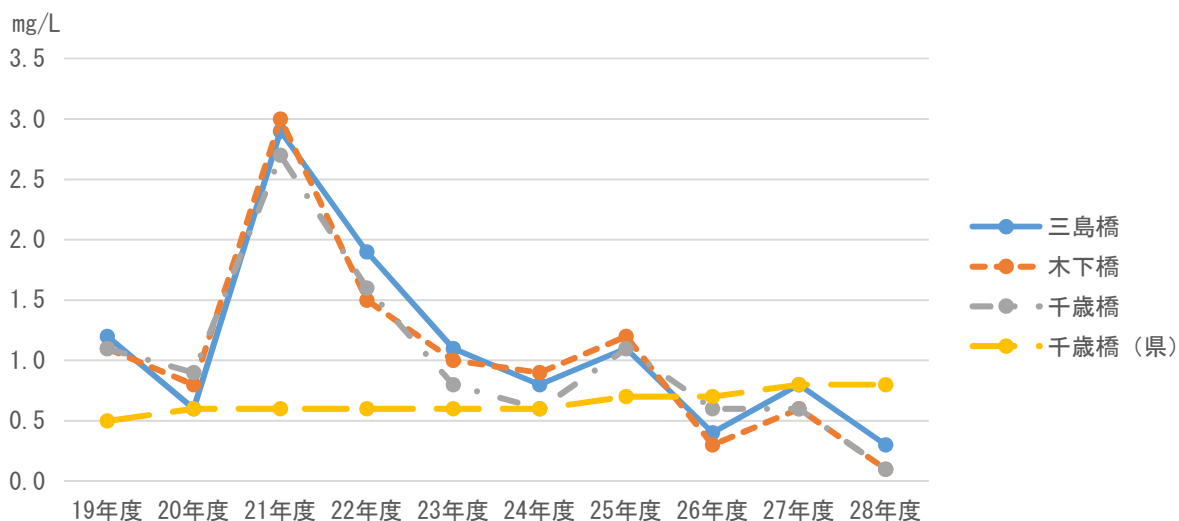
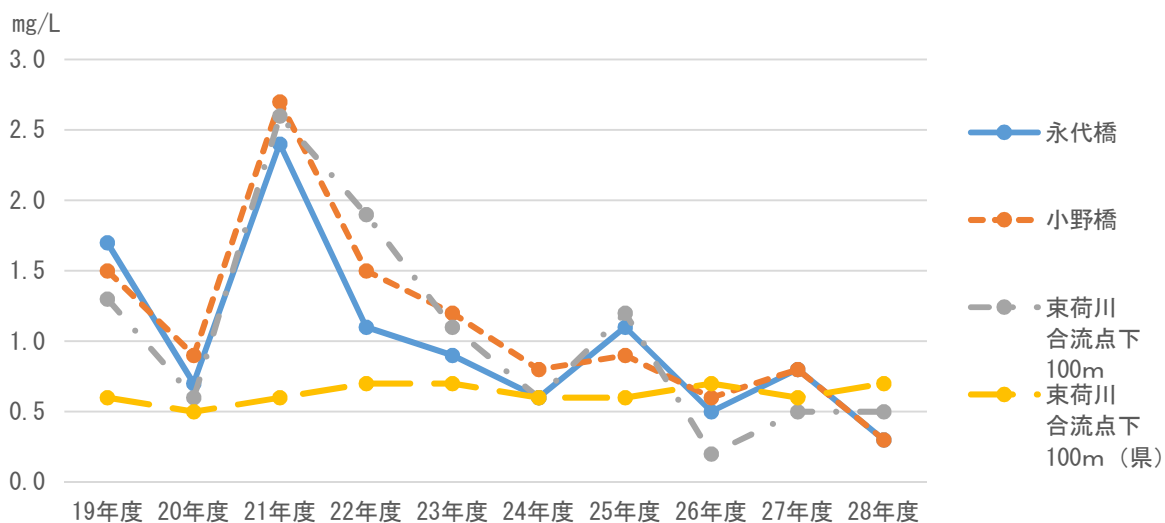
◇単位等 大腸菌群数：MPN/100ml、その他(pHを除く)：mg/Lを示す

◇市は年4回、県は年12回調査実施

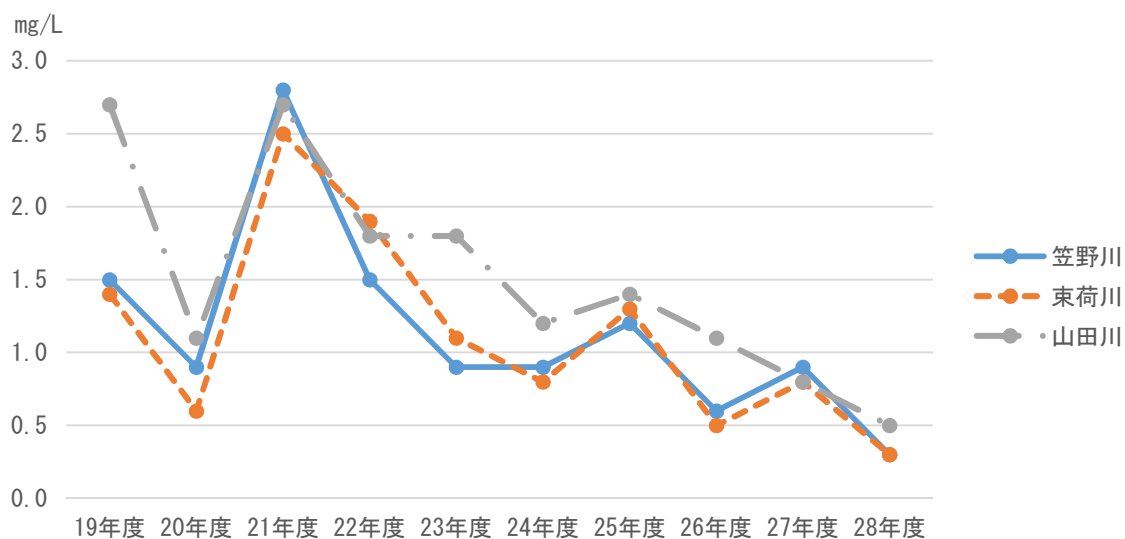
◇「E+**」は指数表示(×10の**乗)を示す

島田川水系における BOD 経年変化（年度平均値）

(本流)



(支流)



平成28年度 光井川水系における水質汚濁調査結果

(年度平均値)

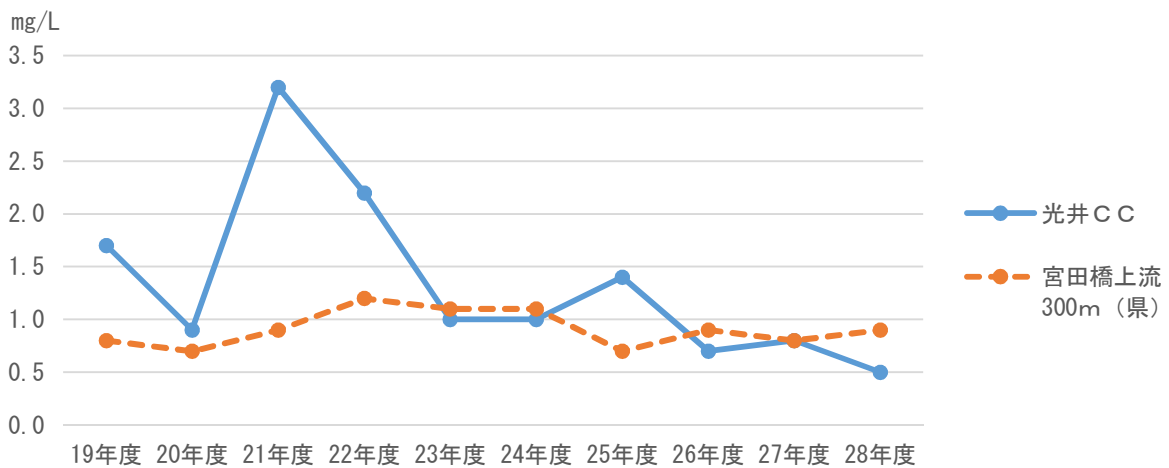
地点 項目	光井CC横堰上 (A類型)	宮田橋上流300m (A類型) (県)	鮎俣橋下流30m (B類型)	鮎俣橋下流30m (B類型) (県)
pH	7.5	7.6	7.7	7.6
BOD(75%値)	0.5(0.6)	0.9(1.0)	0.4(0.6)	0.9(0.9)
SS	5.0	6.0	5.0	6.0
DO	9.4	10.0	9.8	10.0
大腸菌群数	3.5E+04	5.9E+04	9.7E+03	4.3E+04

◇単位等 大腸菌群数：MPN/100ml、その他（pHを除く）：mg/Lを示す

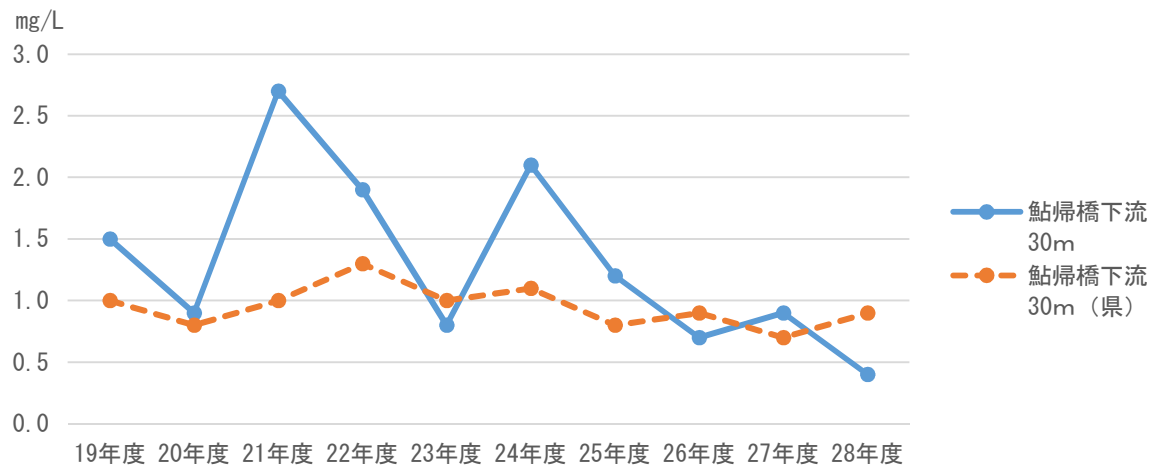
◇市は年4回、県は年12回調査実施

光井川水系におけるBOD経年変化（年度平均値）

(A類型)



(B類型)



(出典：山口県環境白書、光市の環境)

②光地先海域

平成28年度における光地先海域における水質汚濁状況調査結果より、し尿処理場沖のpH以外の項目、その他の地点についても、COD及びDOについては多くの検体が環境基準を超えました。

平成28年度 光地先海域における水質汚濁状況調査結果

(年度平均値)

地点 項目	し尿処理場沖 (A類型)	西河原川沖 (A類型) (県)	島田川沖 (A類型)	製鐵・武田沖 (B類型) (県)
pH	8.1	8.2	8.1	8.2
COD(75%値)	2.0(2.1)	1.9(2.0)	2.2(2.2)	1.8(1.9)
DO	7.6	8.8	7.4	8.8
大腸菌群数	1.4E+03	5.7E+01	1.0E+02	—
全窒素	0.42	0.17	0.19	0.15
全 燐	0.048	0.023	0.023	0.018

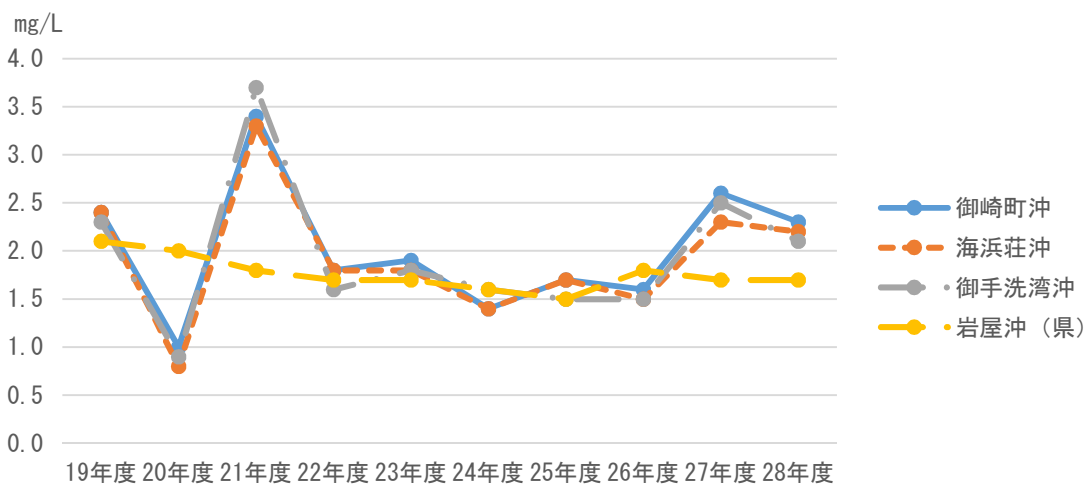
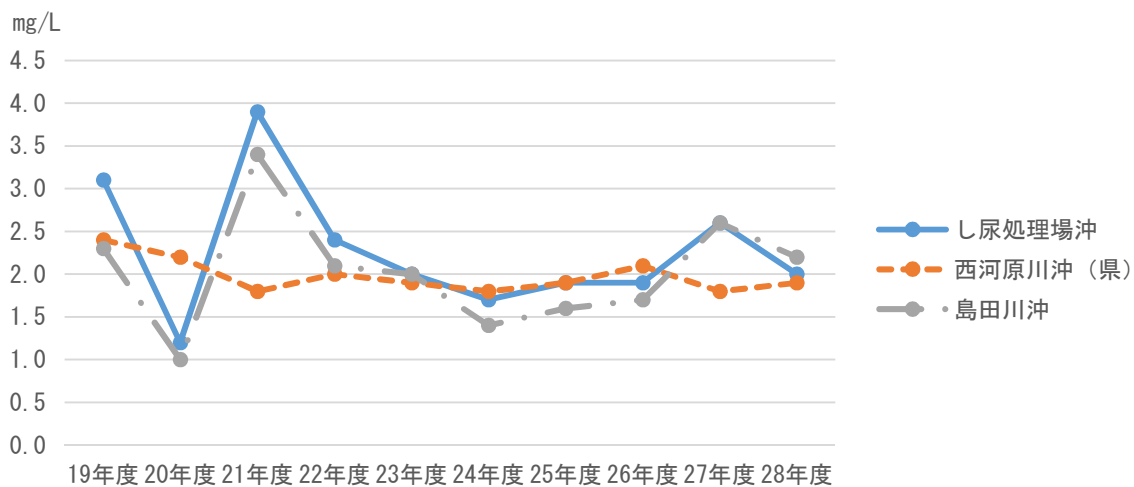
地点 項目	御崎町沖 (A類型)	海浜荘沖 (A類型)	御手洗湾沖 (A類型)	岩屋沖 (A類型) (県)
pH	8.1	8.1	8.1	8.2
COD(75%値)	2.3(2.4)	2.2(2.2)	2.1(2.1)	1.7(1.8)
DO	7.2	7.3	7.5	8.5
大腸菌群数	1.0E+02	2.2E+01	1.0E+02	2.2E+00
全窒素	0.14	0.13	0.12	0.08
全 燐	0.019	0.021	0.019	0.017

◇COD：化学的酸素要求量

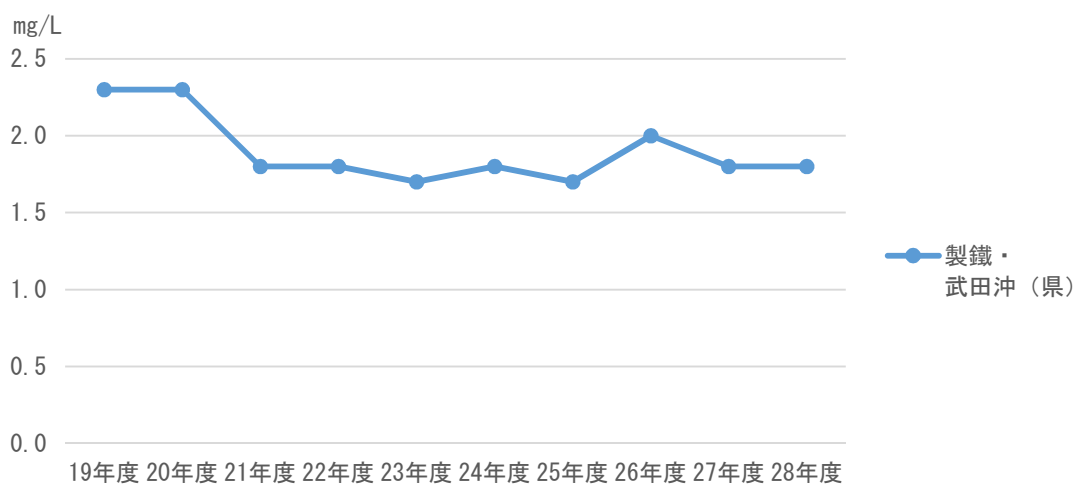
◇単位等 大腸菌群数：MPN/100ml、その他（pHを除く）：mg/Lを示す

光地先海域におけるCOD 経年変化（年度平均値）

（A 類型）



（B 類型）



（出典：山口県環境白書、光市の環境）

(6) 騒音・振動・悪臭

苦情件数の推移

(単位：件)

	騒音	振動	悪臭
平成23年度	3	0	6
平成24年度	8	1	6
平成25年度	8	0	1
平成26年度	4	0	1
平成27年度	3	0	0
平成28年度	2	0	2

(出典：光市の環境)

2 低炭素社会に関する環境

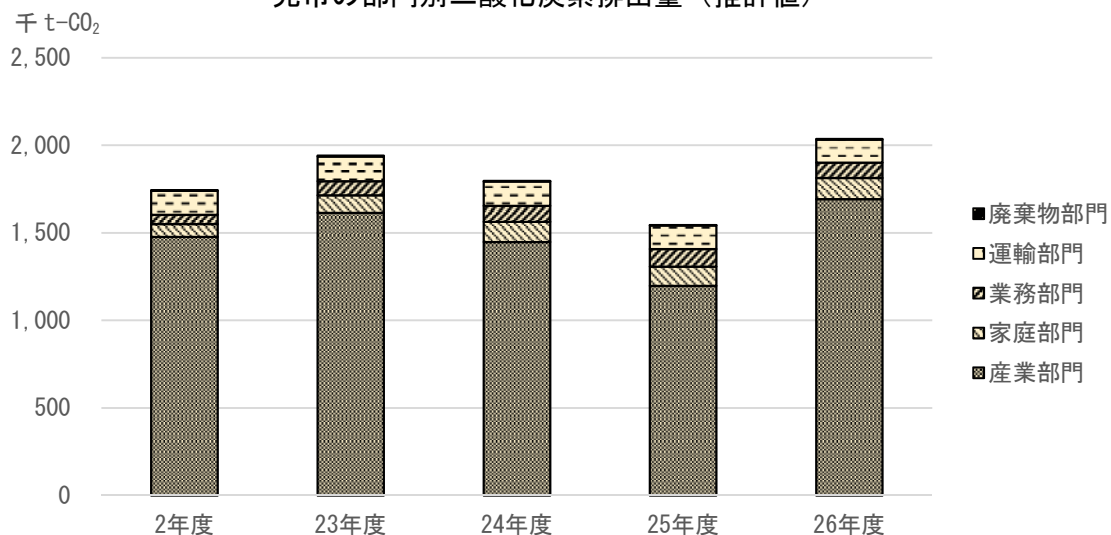
(1) 温室効果ガス排出量

光市の二酸化炭素排出量（推計値）

(単位：千t-CO₂)

	産業部門	家庭部門	業務部門	運輸部門	廃棄物部門	排出量合計
平成22年度	1,478	72	54	137	3	1,745
平成23年度	1,615	101	80	141	5	1,942
平成24年度	1,448	115	92	139	3	1,797
平成25年度	1,197	111	100	135	3	1,547
平成26年度	1,693	121	88	132	4	2,038

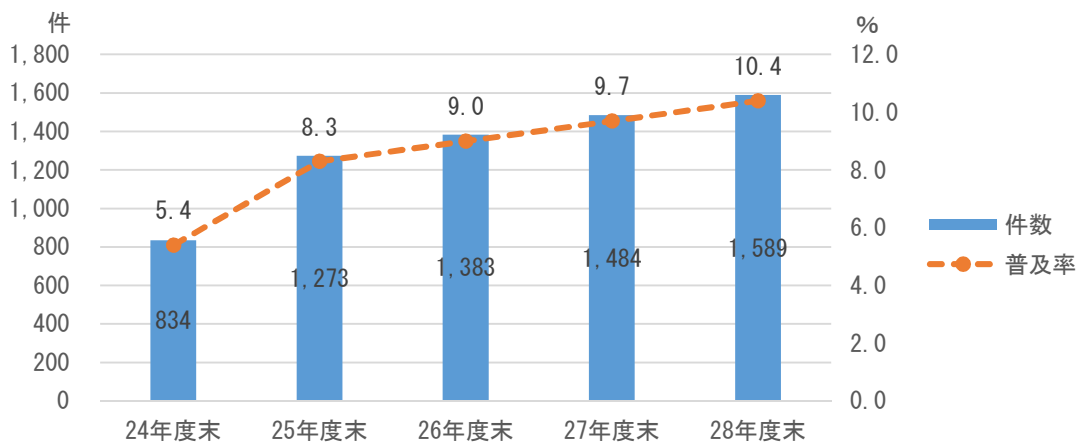
光市の部門別二酸化炭素排出量（推計値）



(出典：「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定支援サイト」環境省ホームページ)

(2) 太陽光発電の普及

住宅用太陽光発電設備の設置件数及び普及率

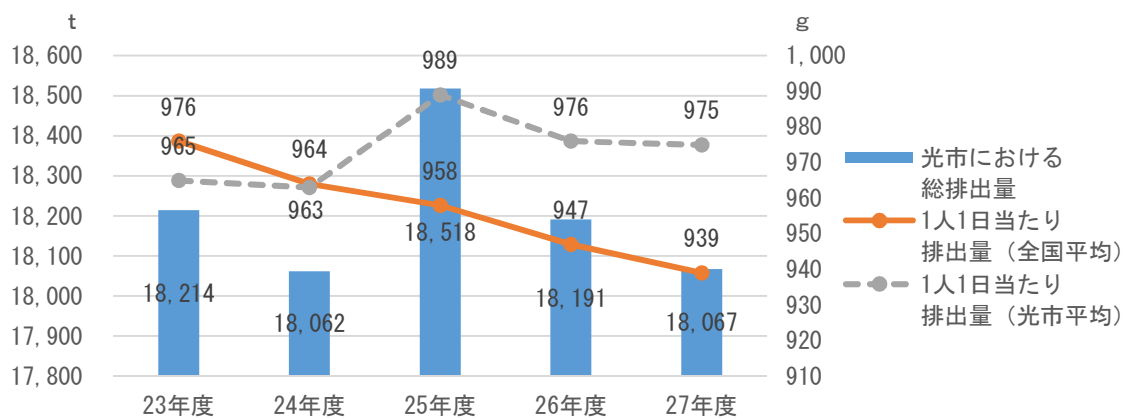


(出典：資源エネルギー庁、光市の環境)

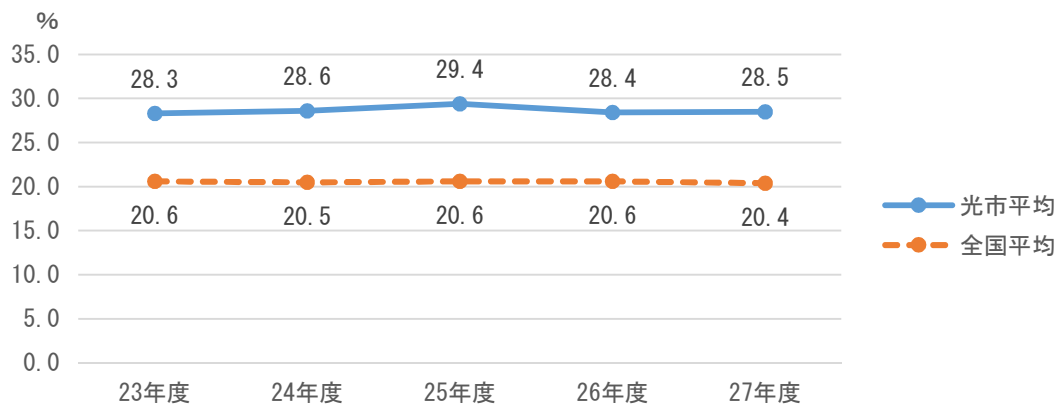
3 循環型社会に関する環境

(1) 廃棄物

廃棄物排出量



リサイクル率



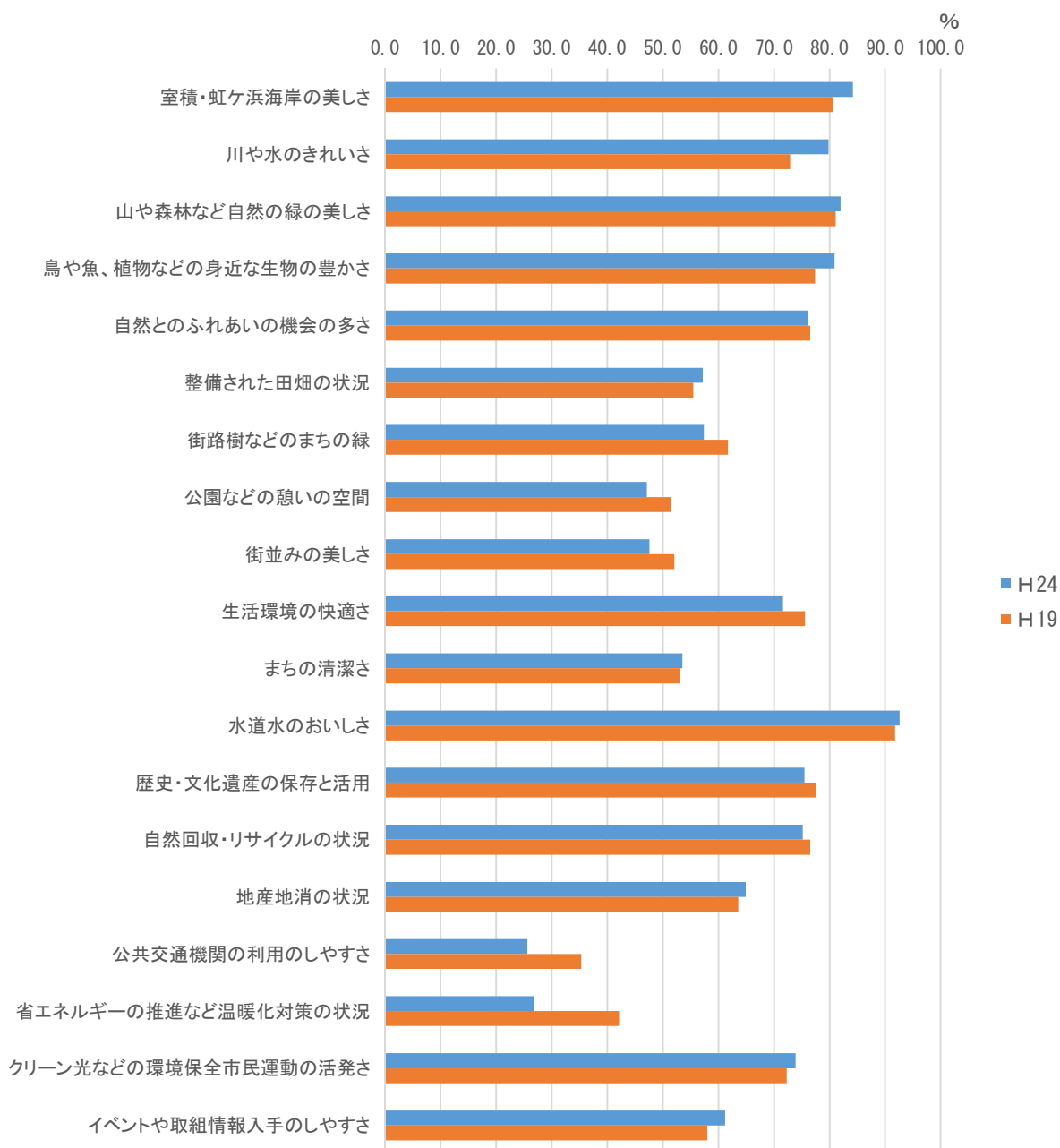
(出典：一般廃棄物処理事業実態調査（環境省実施）、第2次光市一般廃棄物処理基本計画)

4 市民アンケート結果（抜粋）

リーディングプロジェクト改定にあたり、前期5年間の取組みに対する評価・検証並びに市民の環境意識を把握するために市民アンケートを実施しました。

（１）光市の環境に対する市民満足度【前回アンケート（H24）との比較】

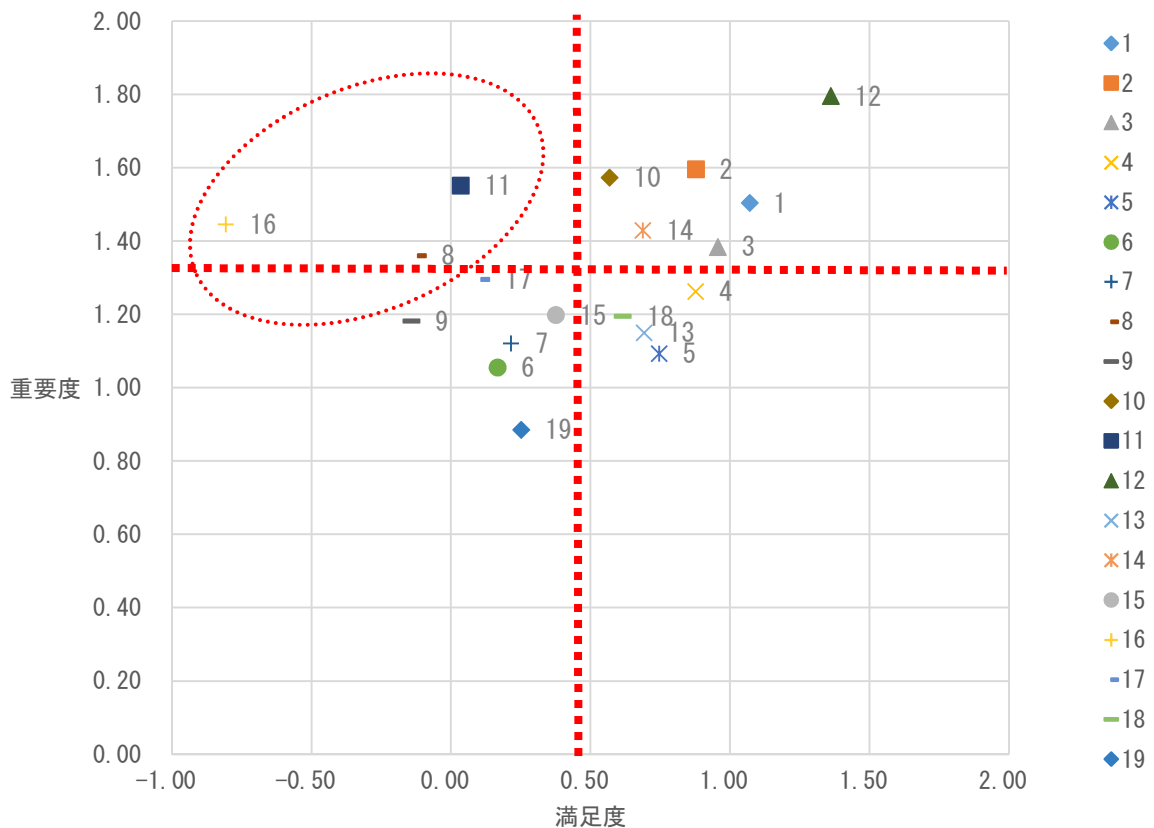
「満足」あるいは「やや満足」と回答した人の割合は、19項目中11項目となっており、計画の推進がうかがえます。特に、前回と同様、「水道水のおいしさ」、「室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」などで満足度が高くなっています。



(2) 光市の環境に対する満足度と重要度の相関図による分析

満足度が低く重要度が高い項目は、市民からの取組みニーズが高いと捉えられます。

結果を見ると、「公共交通機関の利用のしやすさ」、「公園などの憩いの空間」、「まちの清潔さ（ゴミや犬のフン等がないこと）」が該当し、重点的に改善することが必要な分野と捉えることができます。

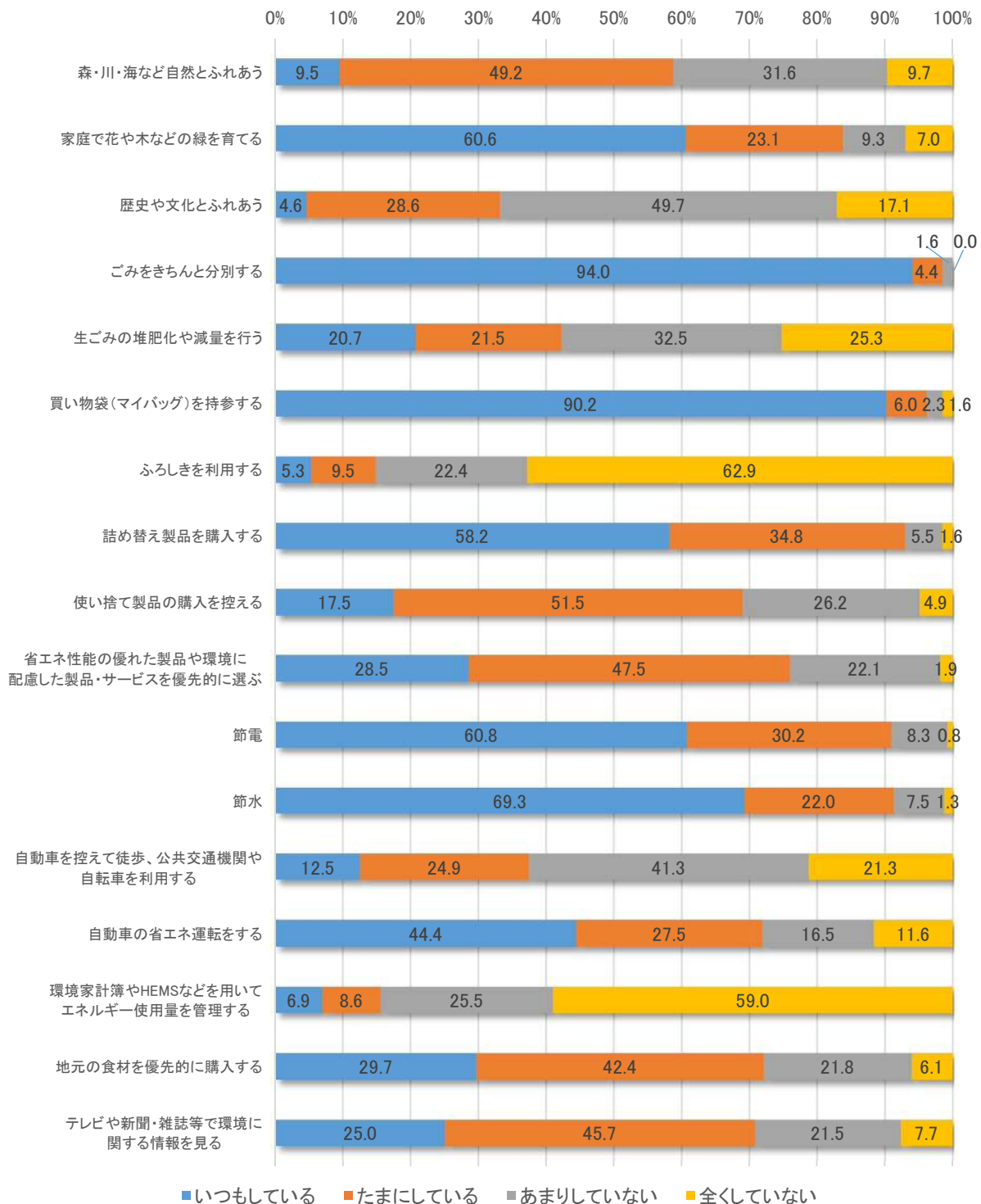


- 1 室積・虹ヶ浜海岸の美しさ
- 2 川の水のきれいさ
- 3 山や森林などの自然の緑の美しさ
- 4 鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ
- 5 自然とのふれあいの機会の多さ
- 6 整備された田畑の状況
- 7 街路樹などのまちの緑
- 8 公園などの憩いの空間
- 9 街並みの美しさ
- 10 生活環境の快適さ

- 11 まちの清潔さ
- 12 水道水のおいしさ
- 13 歴史・文化遺産の保存と活用
- 14 資源回収・リサイクルの状況
- 15 地産地消の状況
- 16 公共交通機関の利用のしやすさ
- 17 省エネルギーの推進などの温暖化対策の状況
- 18 クリーン光などの環境保全市民活動の活発さ
- 19 イベントや取り組み等情報入手のしやすさ

(3) 個人や家庭で取り組んでいること

「ごみをきちんと分別する」、「買い物袋（マイバッグ）を持参する」、「詰め替え製品を購入する」、「節電」、「節水」の5項目において、「いつもしている」、「たまにしている」を合わせた割合が90%を超えています。一方、「ふろしきを利用する」、「環境家計簿やHEMSなどを用いてエネルギー使用量を管理する」については、非常に低い数値となっています。



（４）環境に関する地域・団体での活動について

「クリーン光大作戦」、「古新聞やアルミ缶等の資源回収」の２項目で、「いつも参加している」、「たまに参加している」を合わせた割合が８０％を超えています。一方、「環境に関する市民活動（NPO等）」、「文化財などの保護活動」、「白砂青松１０万本大作戦」については、非常に低い数値となっています。

